

工事事故(速報)の情報提供について

工事の安全管理には、日頃から万全を期していただいているところではありますが、この度、残念ながら別紙に示す工事事故が発生しました。

各事務(管理)所の工事現場において、このような工事事故が再び発生することのないように工事事故概要を皆様にお知らせいたします。

本資料を活用し、受注者を適切にご指導頂き、再発防止に努めて頂きますようお願いいたします。

【工事事故(速報)発生状況】 (H26.7.31現在)

	7月発生件数	累計件数	死亡者数	負傷者数
平成26年度(今年度)	3件	16件	1人	8人
平成25年度(昨年度)	4件	77件	11人	32人

注1) 上記は、関東地方整備局管内の工事事故発生件数(速報)を示す。

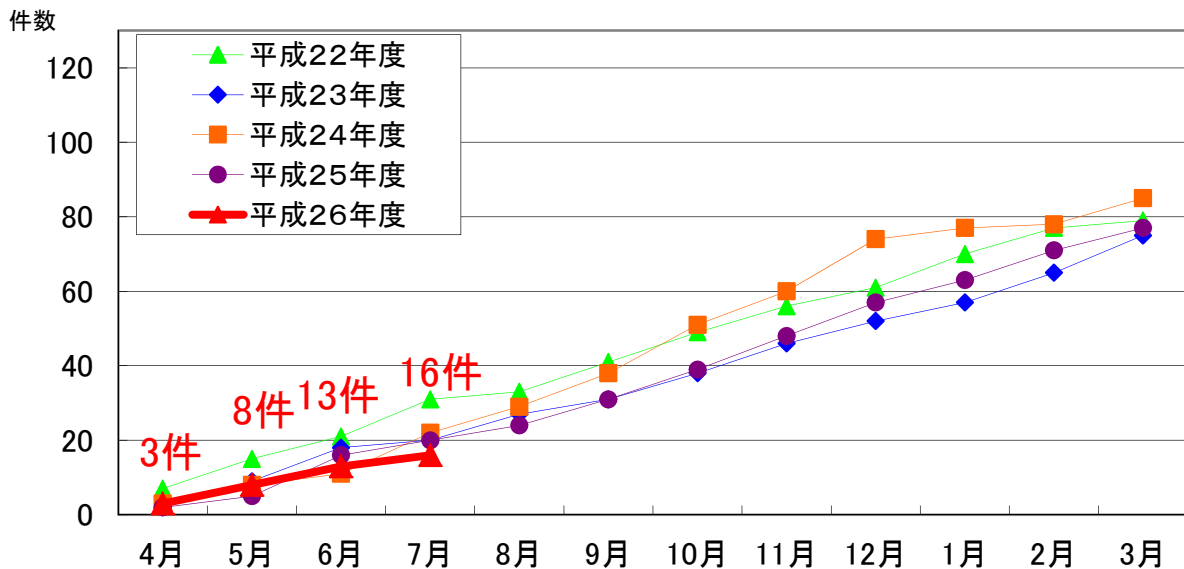
注2) 「7月発生件数」は、7/1～7/31の間に起きた件数。(月毎分)

注3) 「累計件数」は、4/1～3/31の間に起きた件数。(累計分)

注4) 「死亡者数」・「負傷者数」は、4/1～3/31の累計人数を示す。

注5) 平成26年度の数字は「速報」であり、審査の結果、「不問」になる可能性がある。

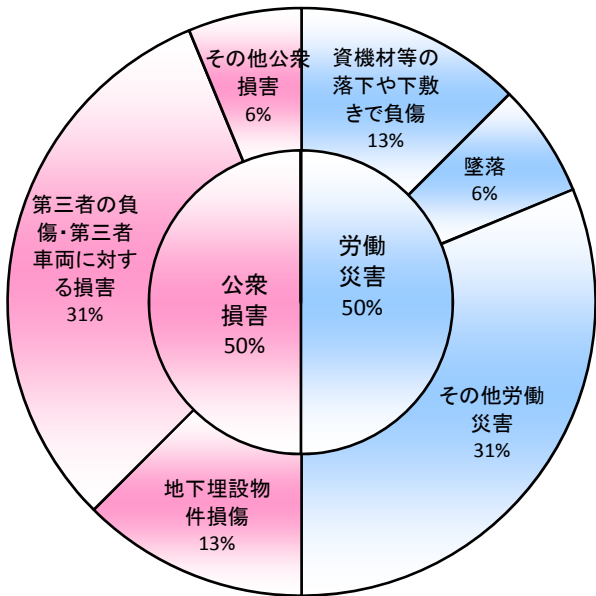
●工事事故件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年度 累計 (月毎)	7件 (7件)	15件 (8件)	21件 (6件)	31件 (10件)	33件 (2件)	41件 (8件)	49件 (8件)	56件 (7件)	61件 (5件)	70件 (9件)	77件 (7件)	79件 (2件)
平成23年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	9件 (7件)	18件 (9件)	20件 (2件)	27件 (7件)	31件 (4件)	38件 (7件)	46件 (8件)	52件 (6件)	57件 (5件)	65件 (8件)	74件 (9件)
平成24年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	11件 (3件)	22件 (11件)	29件 (7件)	38件 (9件)	51件 (13件)	60件 (9件)	74件 (14件)	77件 (3件)	78件 (1件)	85件 (7件)
平成25年度 累計 (月毎)	2件 (2件)	5件 (3件)	16件 (11件)	20件 (4件)	24件 (4件)	31件 (7件)	39件 (8件)	48件 (9件)	57件 (9件)	63件 (6件)	71件 (8件)	77件 (6件)
平成26年度 累計 (月毎)	3件 (3件)	8件 (5件)	13件 (5件)	16件 (3件)								

※なお、平成21年度工事事故より、国の管理物損傷事故件数を措置の対象としている。

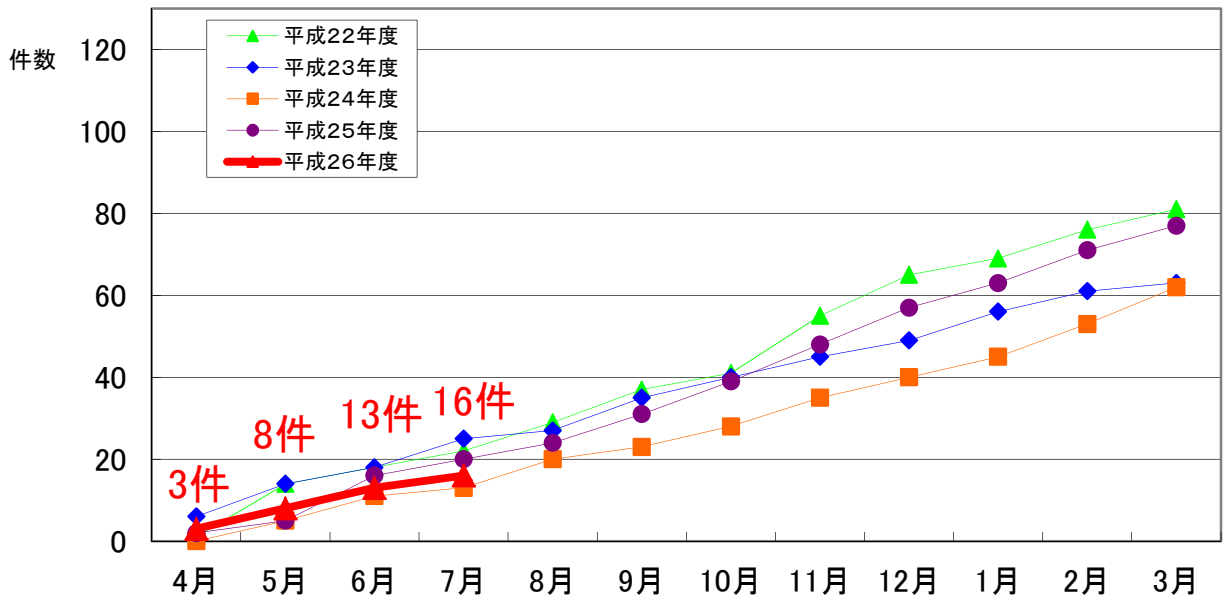
●平成26年度 工事事故発生状況(発生形態別)



発生形態	H24	H25	H26	過去3年間計	
労働災害	建設機械の稼働に関連した人身事故	7	6	0	13
	部材の加工作業等により自らを負傷	0	4	0	4
	資機材等の落下や下敷きで負傷	9	6	2	17
	墜落	5	6	1	12
	準備作業、測量調査業務等における人身事故	0	1	0	1
	その他労働災害	6	6	5	17
小計	27	29	8	64	
公衆損害	架空線・標識等損傷	10	5	0	15
	地下埋設物件損傷	7	12	2	21
	第三者の負傷・第三者車両に対する損害	19	17	5	41
	その他公衆損害	19	10	1	30
	小計	55	44	8	107
その他事故	3	4	0	7	
計	85	77	16	178	

●H26年度重点的安全対策項目

(参考)工事事故のうち、「その他公衆損害」における車両管理業務等の車両の自損事故を除く事故件数(車両管理業務等の車両の自損事故を除いた工事事故件数)

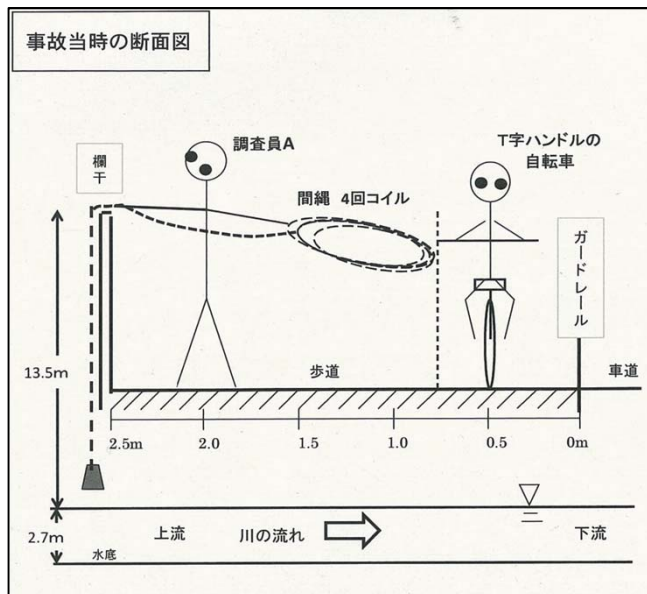
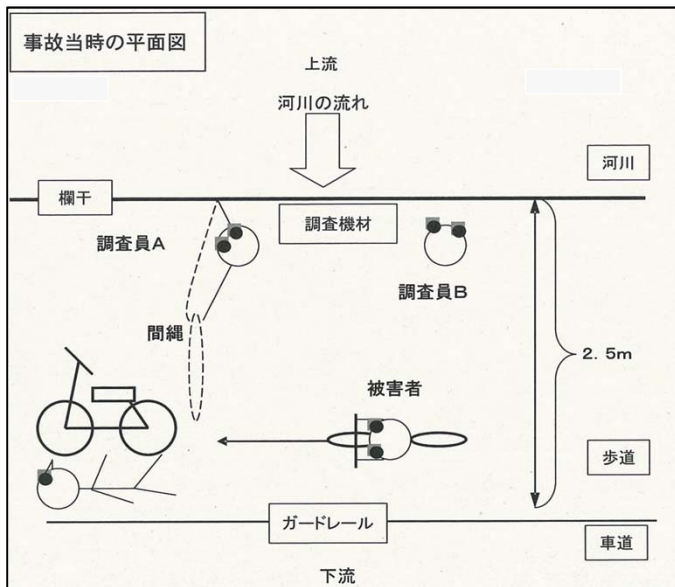


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
平成22年度 累計	6件	14件	18件	25件	27件	35件	40件	45件	49件	56件	61件	63件
(月毎)	(6件)	(8件)	(4件)	(7件)	(2件)	(8件)	(5件)	(5件)	(4件)	(7件)	(5件)	(2件)
平成23年度 累計	0件	5件	11件	13件	20件	23件	28件	35件	40件	45件	53件	62件
(月毎)	(0件)	(5件)	(6件)	(2件)	(7件)	(3件)	(5件)	(7件)	(5件)	(5件)	(8件)	(9件)
平成24年度 累計	2件	6件	8件	18件	23件	31件	42件	50件	63件	66件	67件	74件
(月毎)	(2件)	(4件)	(2件)	(10件)	(5件)	(8件)	(11件)	(8件)	(13件)	(3件)	(1件)	(7件)
平成25年度 累計	2件	5件	16件	20件	24件	31件	39件	48件	57件	63件	71件	77件
(月毎)	(2件)	(3件)	(11件)	(4件)	(4件)	(7件)	(8件)	(9件)	(9件)	(6件)	(8件)	(6件)
平成26年度 累計	3件	8件	13件	16件								
(月毎)	(3件)	(5件)	(5件)	(3件)								

■問合せ先:企画部 技術調査課 遠藤・桑田 (TEL 048-600-1332)

発生日時	平成 26年 7月 2日 (水) 8時 15分			
工事情報	河川系事務所 業務			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	女	42	第三者	左肘すり傷
事故概要	橋梁の歩道部において、河川の水深を測定していた際、使用した間縄が第三者の運転する自転車に接触し、転倒・負傷したものの。 公衆損害-第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



・水質調査の際、橋梁の歩道部において、水深の測定を実施した後、水深の測定で使用した間縄を、引き上げながら束ねて回収している途中、間縄を束ねていた手を伸ばしたところ、束ねた間縄が第三者の運転する自転車に接触し、転倒・負傷（左肘すり傷）した。

・調査員は2名おり、調査員Aが水深測定、調査員Bが水面観察と通行者等に対する周辺監視を行っていた。

【事故発生原因】

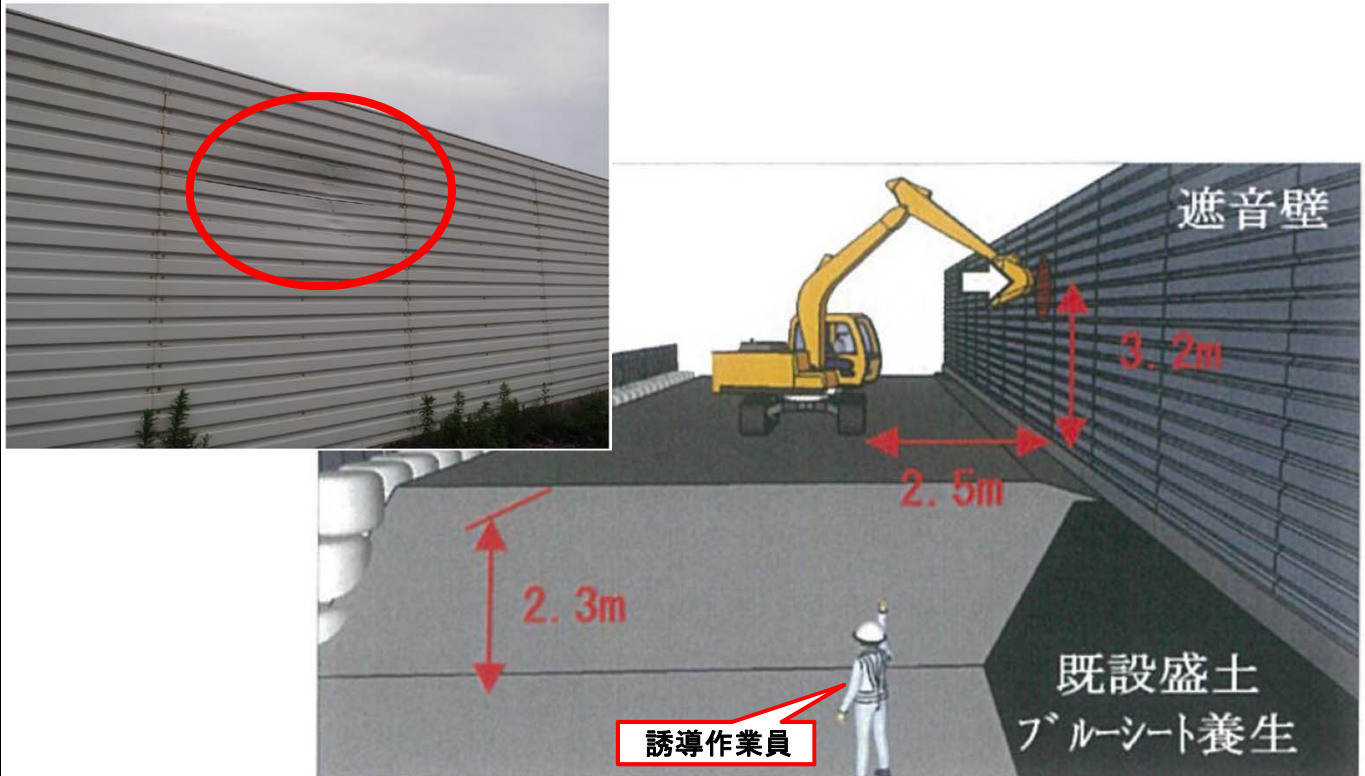
- ・第三者への注意が不足
など

【事故防止のポイント】

- ・通行者等の監視を行い、通行者が通過する際は作業を一時中断する。
など

発生日時	平成 26 年 7 月 10 日 (木) 16 時 0 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	—	—	—	高速道路の防音パネル損傷
事故概要	土砂のかき上げ作業をバックホウにて実施していた際、バックホウのバケットが付近にあった高速道路の防音パネルに接触し、損傷させたもの。			
	公衆損害—第三者の負傷・第三者車両に対する損害			

事故発生状況



・発生土の受取作業実施中、バックホウ運転手が誘導作業員に現在のダンプ台数を確認するため、バックホウのブームを起し、エンジンをかけた状態で運転席の前面ガラスを開けて身を乗り出した。

・その際、左太腿がアームの操作レバーに誤って触れたため、アームが動き、隣接の高速道路の遮音壁化粧パネルにバケットが接触、損傷させた。

【事故発生原因】

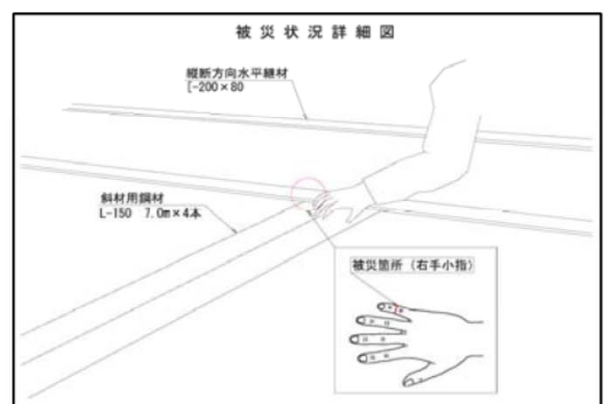
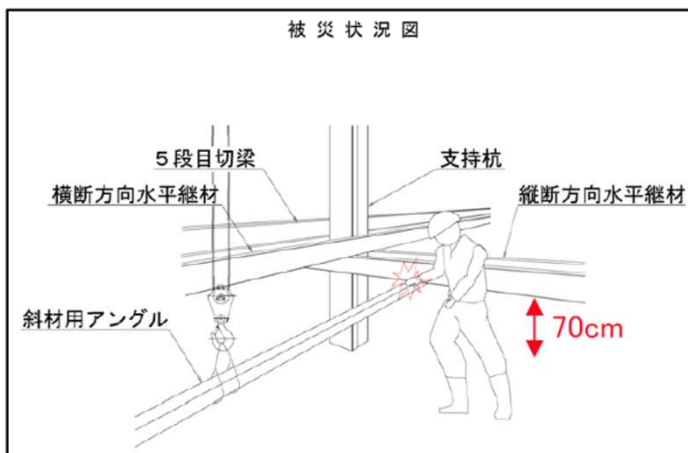
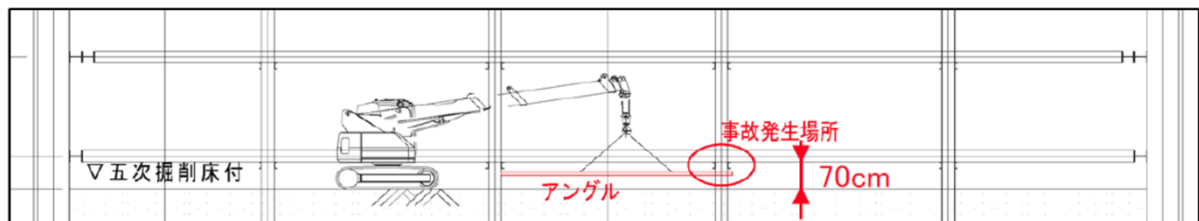
- ・既設構造物に対する注意喚起が不足していた
 - ・ロックレバーを作動させていなかった
- など

【事故防止のポイント】

- ・運転席を離れようとするときは、バケットを下げて、ロックレバーを作動させる。
 - ・既設構造物の注意喚起措置の実施
- など

発生日時	平成 26 年 7 月 22 日 (火) 11 時 0 分			
工事情報	道路系事務所 一般土木工事			
被災の状況	性別	年齢	職種	被災の程度
	男	28	とび	
事故概要	山留設置中に、4.9tクローラークレーンにて、鋼材を吊り、巻き上げた際、荷が振れ、作業員が指を挟み、負傷したもの。			
	労働災害—その他労働災害			

事故発生状況



- ・現場は5段目の山留架設中であつた。4.9tクローラークレーンにて、斜材(L-150、7m×4本)を移動して仮置きするために揚重作業を行っていた。
- ・被災者は玉掛け後一旦離れ、4.9tクローラークレーンのオペレータに合図を送ったが、荷を巻き上げた際、荷が振れたため、とっさに止めようと手を出してしまい、水平継材と斜材との間に右手小指を挟み、負傷した。

【事故発生原因】

- ・地切り時の荷の安定確認をしていなかった
- ・介錯ロープ未使用
など

【事故防止のポイント】

- ・地切り時の荷の安定確認実施
- ・介錯ロープの使用
など